

## 米科学アカデミー

### 「米国における低線量放射線被ばく研究の長期戦略策定」委員会

---

- 2017年米国イノベーション・競争力法に「放射線生物学」研究の強化方針
- 2020年12月成立の統合歳出法 (consolidated appropriations Act, 2021) にプログラム内容と委員会立ち上げ方針
- 2021年7月～ 約40回の会合やワーキンググループ(うち7回の公開ミーティング)
- 2022年6月3日 報告書公表(メールアドレスを入力すればダウンロード可能)

#### 『現代科学の進歩を活用した米国の低線量放射線被ばく研究の活性化』

<https://nap.nationalacademies.org/catalog/26434/leveraging-advances-in-modern-science-to-revitalize-low-dose-radiation-research-in-the-united-states>

## 委員会の今後の予定:対話集会とパブコメ

---

- オンラインでの対話集会(バーチャル・タウンホール・ミーティング)  
6月16日11:00-13:30(日本時間6月17日0:00~2:30)

<https://www.nationalacademies.org/event/06-16-2022/committee-on-developing-a-long-term-strategy-for-the-low-dose-radiation-research-in-the-united-states-virtual-town-hall-june-16-2022>

※質問や直接コメントをしたい場合は、6/15終業時間(日本時間6月16日6:00頃)までに要申込

- パブコメ(Provide feedback on this project)  
6月17日までだったが、7月1日まで延長

<https://www8.nationalacademies.org/pa/feedback.aspx?type=project&key=DELS-NRSB-21-02>

<お知らせ> 市民科学講座 連続シンポジウム  
シリーズ「福島原発事故の経験から放射線防護のあり方を改める」第3回

日時 : 2022年6月28日(火) 19:00~21:00

申込み : [https://www.shiminkagaku.org/csijsymposium\\_icrp\\_202203/](https://www.shiminkagaku.org/csijsymposium_icrp_202203/)

参加費 : 500円(要事前申し込み、要事前送金)

- 第1部: ICRP Pub. 146と福島原発事故——2021年2月の討論会での主として線量基準(線量限度)に関する議論をふまえて(柿原泰、瀬川嘉之)
- 第2部: 濱岡豊さん(慶応義塾大学商学部教授)のお話

(主催: 市民科学研究室・低線量被曝研究会、協力: CCNE他)